塗膜性能比較

	項　目	2液アクリルラッカー	レタンPG80Ⅲ
塗装作業性	乾燥性（シマリ）	◎△	◎
	メタリック吹きムラ	◎△	◎
	メタリック戻りムラ	◎△	◎
	ボカシ易さ	○	◎
	とまり	○	◎
	磨き易さ	○	◎
	テープ跡	△	◎
仕上がり	調色性（メタリック方向性）	○	◎
	塗りツヤ	○	◎
	塗り肌　一　般	○	◎
	塗り肌　高　級	◎△	◎
	磨きツヤ	○	◎
	肉持ち	○	◎
	再補修性（チヂミ）	◎△	◎

	項　目	2液アクリルラッカー	レタンPG80Ⅲ
塗膜性能	付着性	◎△	◎
	物理性	○	◎
	耐水性	◎	◎
	耐ガソリン性	○	◎
	ツヤ退け	◎△	◎
	ツヤ持ち	◎△	◎
	ワレ	◎△	◎
	ヤケ	◎△	◎

（製品概要）
高級車の塗装に最適・加速反応形アクリルポリオール（ベース）と無黄変形ポリイソシアネート（硬化剤）を主成分とした超速乾形純ウレタン樹脂塗料。

（特長）
1．豪華な塗肌。　2．調色が容易。　3．驚異的な耐久性。

使用方法

1 硬化剤の配合

塗料ベース　10：1　硬化剤

1）正確に計量し、十分攪拌してからお使いください。
2）硬化剤が多いと乾燥が悪くなり、少ないと塗膜性能が十分に発揮できません。
3）硬化剤は空気中の水分とも反応し硬化しますので、使用後はただちに密閉し、冷暗所に保管してください。

● 硬化剤配合量の注意

硬化剤量（%）	0	5	10	20
乾　燥	◎	◎	◎	×
ワ　レ	×	△	◎	○
付　着	×	△	◎	◎

←実用範囲→

2 希釈塗料の可使時間

16時間以内　液温10℃
8時間以内　液温20℃
5時間以内　液温30℃

硬化剤を混入したものは、可使時間以内に使いきってください。ゲル化や増粘していない状態でも、すでに局部的な反応が進んでいますので、塗膜欠陥の原因となります。尚、原色によっては上記より若干短いものがあります。

3 乾燥

	10℃	20℃	30℃	60℃
指触乾燥	10分（8分）	5分（4分）	3分（2分）	－
中研ぎ可能	40分（35分）	20分	17分	10分
テープ可能	24時間（20時間）	16時間（12時間）	6時間（5時間）	20分
※コンパウンド磨き可能	6時間（5時間）	3時間	2時間	20分
屋外放置可能	20時間	12時間	8時間	20分
ガソリンOK	36時間	24時間	20時間	30分
完全硬化	72時間	48時間	40時間	50分

1）塗装条件：531ホワイトを使用。膜厚70μ
2）旧塗膜の種類、膜厚、塗色、湿度、風速、シンナーのタイプなどの諸条件で変わります。左記はあくまでも参考値です。
3）レタンPG80Ⅲを塗装後、キズ等の補修でラッカー系パテやプラサフを塗装する場合、あるいはライン引き、文字書き等にラッカー系上塗り塗料を塗装する場合には、左記「完全硬化」後に行ってください。チヂミ、ワレ、ツヤ引けを起こすことがあります。
4）ファンタックは、完全硬化後にご使用ください。
※ボカシ際のコンパウンド磨き可能時間は、次の通りです。
　10℃　24時間　　30℃　6時間
　20℃　16時間　　60℃　40分
5）（　）は硬化剤速乾形

4 レタンPGシンナーの選び方

1）レタンPGシンナーをお使いください。
2）左記の表はあくまでも一例です。諸条件（特に風速）によって変動しますので、ご留意ください。
3）ボカシぎわのミストは、レタンPGボカシレベリング剤（またはレタンPGボカシ用シンナー）を用いてなじませてください。

	レタンPG ボカシレベリング剤	レタンPG ボカシ用シンナー
25℃以下	標　準　形	標　準　形
25℃以上	遅　乾　形	超遅乾形

4）特に蒸発速度を遅くしたい時は、レタンPGノンブラをシンナーに対して10%以内添加してください。
※部分補修　ドアパーツ1枚以内
※全塗装　片側全面以上